

11月27日(日)
第12回袈裟尾高塚古墳まつり

菊池地区の袈裟尾区で袈裟尾高塚古墳まつりがあり、たくさんの区民などで賑わいました。

同区が主催したもので、地元の一般婦人部や子ども会、消防団、ソフトボールクラブが協力して、焼き鳥やわたがし、イカ焼きなどの出店や消防団の操法実演などがありました。

メインのカラオケ大会では、参加者が日ごろから練習している得意の曲で美声を披露し、会場から盛んな拍手を浴びていました。

また、子どもたち十数人が、同区にある菊池市内唯一の装飾古墳で、市の指定文化財でもある「高塚古墳」を、地元の学識経験者と祭りの前に訪れ、地域にある文化財の勉強もしました。

このまつりは、2年に1度、この時期に行なわれています。

カラオケ大会で、美声を披露する参加者



11月30日(水)菊池市花房支館の
熊本県優良公民館としての表彰を報告

表彰の報告に訪れた、花房支館関係者の皆さん



菊池市花房支館の活動が認められ、熊本県優良公民館として表彰されました。これは、県内の公民館のうち、特に事業内容・方法などに工夫をこらし、地域住民の生涯学習を推進していくうえで大きく貢献しているものに対して表彰されるものです。

受賞の報告として、花房支館長の甲斐親晴さんほか支館の関係者5人が菊池市役所を表敬訪問しました。

福村市長は「これからも花房支館の特色を活かして、地域のために頑張ってください」と激励しました。

今後、花房支館が県内の模範となり、他の公民館をリードしていくことが期待されます。

11月27日(日)竜門倶楽部第2回植樹会

竜門ダムヘリポート付近に植樹する参加者



竜門ダムヘリポート付近で、県内各地より300人が参加して植樹会がありました。

これは、平成15年度に竜門ダム水源地域の住民・各種団体・自治体・有識者が共同で組織する「竜門ダム水源地域ビジョン策定委員会」で策定した「竜門ダム水源地域ビジョン」に基づき、昨年度より実施されています。

地元有志で組織された竜門倶楽部(村上正八座長)と水源地域ビジョン推進実行委員会の共催による植樹は、竜門ダムの水源涵養と水質保全を目的に行われています。

今年度は、ヤマザクラやモミジ、ハゼの3種類300本が植樹され、家族や仲間と参加された人たちは、それぞれにネームプレートを設置して樹木の成長を願いました。

12月2日(金)工事現場安全パトロール

菊池建設業協会が施工する現場の安全対策の一層の強化促進を図ることで、労働災害の絶滅を期することを目的に、同協会が現在工事を行っている現場の安全パトロールがありました。

今回、初めて行われたもので、菊池市建設業協会安全対策委員6人と菊池市役所の関係課の職員5人が、回遊道路整備土木工事4カ所と中学校建築工事2カ所の点検と診断を行いました。

今後も、毎年行われる予定です。

工事現場の安全パトロールをする菊池市建設業協会安全対策委員など



熊本県科学展で七城中学校の生徒たちが、教育委員会賞を受賞

11月9日(水)から13日(日)まで熊本博物館であった熊本県科学展物展示会で、県下約8,000点の出品の中から、七城中学校3年の選択理科女子全員の「七城町の霧の謎を解明する」が教育委員会賞を受賞しました。

七城町になぜ霧が多く発生するのかを科学的に解明した作品で、現在、熊本博物館に半年間展示されています。

また、隈府小学校3年松永諒くんの作品「せみくん早起きだね」と、泗水東小学校保健委員会の作品「みつけたよ「歯」のふしぎなパワー」が熊日ジュ

ニア科学賞を、隈府小学校5年松永玲佳さんの作品「日の出を見ると天気がわかるの?」が優賞、七城小学校3年生の作品「光をあつめて水をあたためよう」が良賞を受賞しました。

さらに、隈府小学校が県展に40回入賞したことで学校賞も受賞しました。菊池市内の小中学生の理科に対する興味・関心が高く、優秀な科学展物も多く作り上げていることが分かります。ちなみに、昨年度は、泗水東小学校保健委員会の作品「たばこの害ってなんだろう」が熊本県賞を受賞しています。来年度もいい作品が出品されることを期待します。

11月17日(木)
おいでよ 泗水小瞳かがやきフェスタ

泗水小学校で一日学校参観があり、地域の人などが参加して児童と一緒に交流しました。

学校を地域に開放し、地域の皆さんとのコミュニケーションを図るために、今回初めて行なわれたもので、校内音楽会や食バザー、子育て講演会などがありました。

午後からの「ふれあいタイム」では、伝承遊びや、読み聞かせ、科学遊びなどの6コースに分かれた児童たちが、地域の皆さんと触れ合いながら交流しました。

泗水小学校は、平成17・18年度の2年間、文部科学省が指定する「コミュニティ・スクール推進事業」の指定を受けており、全国に先駆けて地域に根ざした教育に取り組んでいます。

今回の事業もその一環で、地域との連携を深めるために行なわれました。

地域に根ざした泗水小学校の活躍が、今後期待されます。



「ふれあいタイム」で、地域の皆さんから折り紙の折り方(上)や竹馬の乗り方(右)を教わる児童たち



11月20日(日)
はなぶさフェスタ2005ふるさとづくり

「つどい ふれあい ふるさとづくり」をテーマに、菊池市花房支館、花房地区社会福祉協議会、花房小学校が主催して「はなぶさフェスタ2005」があり、高齢者から子どもまで大勢の人で賑わいました。

手芸や絵、写真、菊盆栽などの作品展示や踊り・歌のステージ発表、総合学習の成果発表、各家庭提供の雑貨品や農産物のチャリティーバザー、人権の花プランターづくりなど盛りだくさんの内容で行われました。また、高齢者がゲストティーチャーとなり、児童と伝承遊びを楽しんだり、杵と臼によりもちをつき、民生委員さんと一緒に一人暮らしのお年寄りに届けたり、世代間の交流も行われました。

舞踊・歌、こども獅子舞や保育園児の遊戯、消防団(父親)・女性部(母親)と児童によるソーラン踊りなどの舞台発表の出演者には、大きな拍手が送られました。

また、参加者は、ヘルシーな昔ながらのふるさと料理「だご汁」とおにぎり、自家製たくあんの昼食に舌鼓をうちました。



伝承遊びを楽しむゲストティーチャーと児童たち



消防団(父親)・女性部(母親)と児童によるソーラン踊り